

I 調査結果の概要



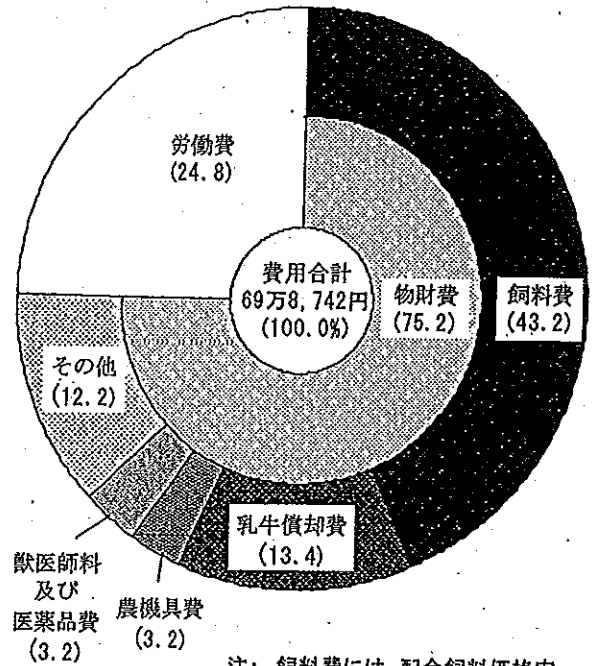
1 牛乳生産費

(1) 平成18年度の搾乳牛通年換算1頭当たり（以下「搾乳牛1頭当たり」という。）の資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は67万4,114円で、前年に比べ0.7%増加し、生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算）全算入生産費は7,450円で、前年に比べ1.6%増加した。

(2) 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の減少から労働費が減少したものの、飼料価格の上昇により飼料費が増加したことや、乳牛取得価格の上昇等により乳牛償却費が増加したこと等による。

(3) 搾乳牛1頭当たり粗収益は、乳価の低下及び搾乳牛1頭当たりの搾乳量が減少したことにより前年に比べ2.2%減少し、71万7,922円となった。

図1 主要費目の構成割合
(搾乳牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第1表 牛乳の生産費及び収益性

区分		搾乳牛通年換算1頭当たり		乳脂肪分3.5%換算乳量100kg当たり	
		実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
生産費	物財費	525 687	2.3	5 809	3.2
	労働費	173 055	△ 2.8	1 911	△ 2.1
	費用合計	698 742	1.0	7 720	1.8
	生産費（副産物価額差引）	628 388	0.8	6 944	1.6
	支払利子・地代算入生産費	640 043	0.8	7 073	1.6
	資本利子・地代全額算入生産費	674 114	0.7	7 450	1.6
粗収益		717 922	△ 2.2	-	-

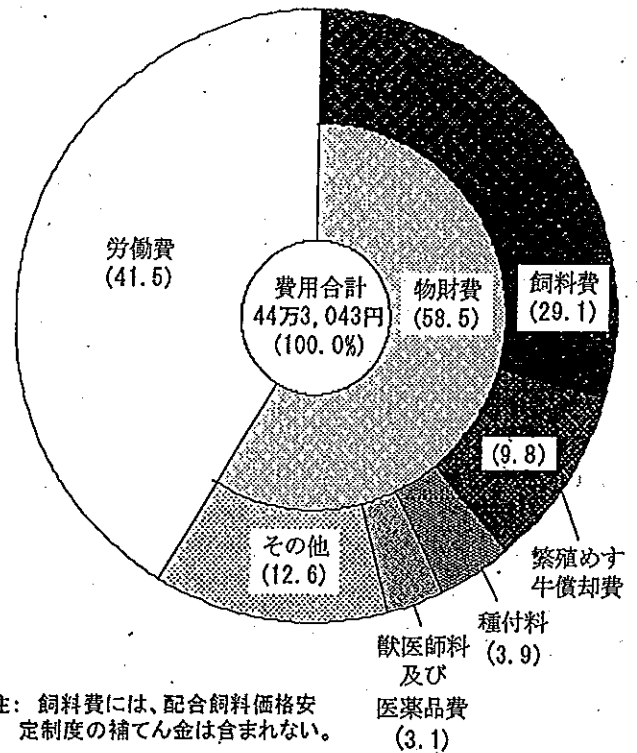
2 子牛生産費

(1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成18年度の子牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は47万3,066円で、前年に比べ1.5%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、飼養規模の拡大等により労働費が減少したものの、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したことや、原油価格の高騰により光熱水料及び動力費が増加したこと等による。

(3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は、和子牛市場価格が堅調に推移したことから前年に比べ3.5%増加し、52万321円となった。

図2 主要費目の構成割合
(子牛1頭当たり)



第2表 子牛の生産費及び収益性

区分	実数	対前年増減率
	円	%
子牛1頭当たり		
物財費	259 302	3.0
労働費	183 741	△ 2.3
費用合計	443 043	0.7
生産費（副産物価額差引）	403 914	1.0
支払利子・地代算入生産費	410 643	1.0
資本利子・地代全額算入生産費	473 066	1.5
繁殖めす牛1頭当たり粗収益	520 321	3.5

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

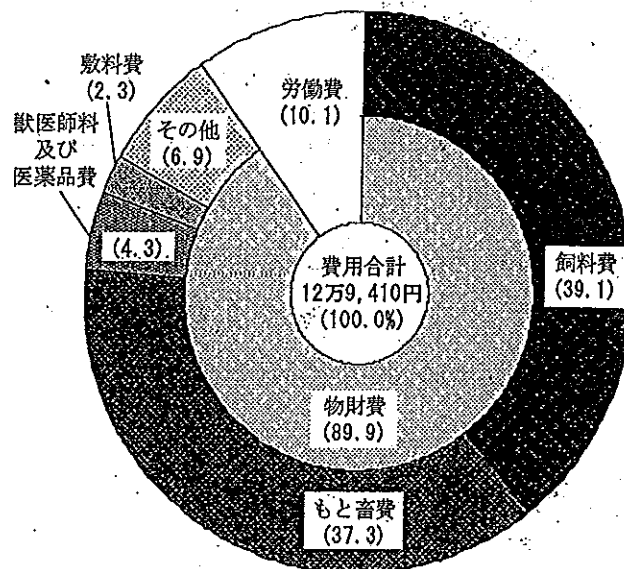
3 乳用おす育成牛生産費

(1) 乳用種のおす子牛を育成し、販売する経営における平成18年度の乳用おす育成牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は13万571円で、前年に比べ1.5%減少した。

(2) 全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成17年10月～18年9月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用子牛（乳用種）市場価格が堅調に推移したことから、前年に比べ15.8%増加し、12万7,456円となった。

図3 主要費目の構成割合
（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

区 分	1 頭 当 た り	
	実 数	対 前 年 増 減 率
	円	%
生 産 費	116 304	△ 1.5
物 財 費	13 106	△ 2.5
勞 働 費	129 410	△ 1.6
費用合計	126 579	△ 1.6
生産費（副産物価額差引）	128 000	△ 1.6
支払利子・地代算入生産費	130 571	△ 1.5
資本利子・地代全額算入生産費		
粗 収 益	127 456	15.8

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

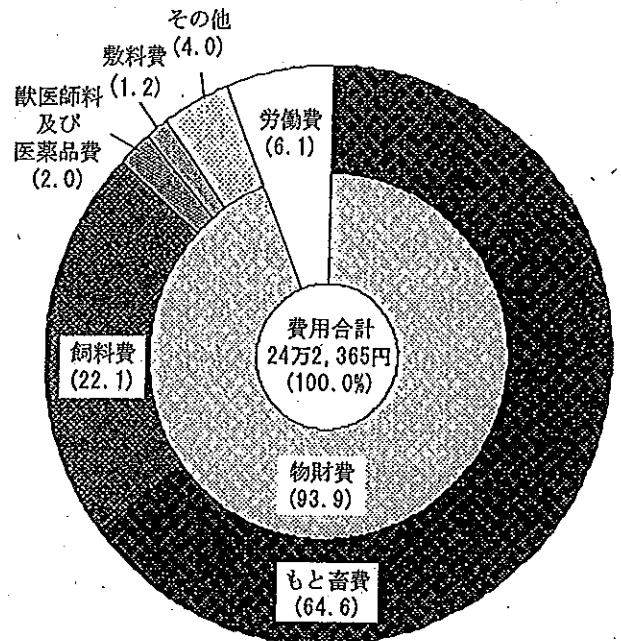
4 交雑種育成牛生産費

(1) 交雑種の子牛を育成し、販売する経営における平成18年度の交雑種育成牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は24万3,990円で、前年に比べ7.3%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成17年9月～18年8月）におけるもと畜費が増加したことや、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用子牛（交雑種）市場価格が堅調に推移したことから前年に比べ4.3%増加し、26万3,631円となった。

図4 主要費目の構成割合
（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り	
		実 数	対 前 年 増 減 率
		円	%
生 産 費	物 財 費	227 516	8.7
	労 働 費	14 849	△ 9.4
	費 用 合 計	242 365	7.4
	生産費（副産物価額差引）	239 734	7.4
	支払利子・地代算入生産費	241 027	7.3
	資本利子・地代全額算入生産費	243 990	7.3
粗 収 益		263 631	4.3

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

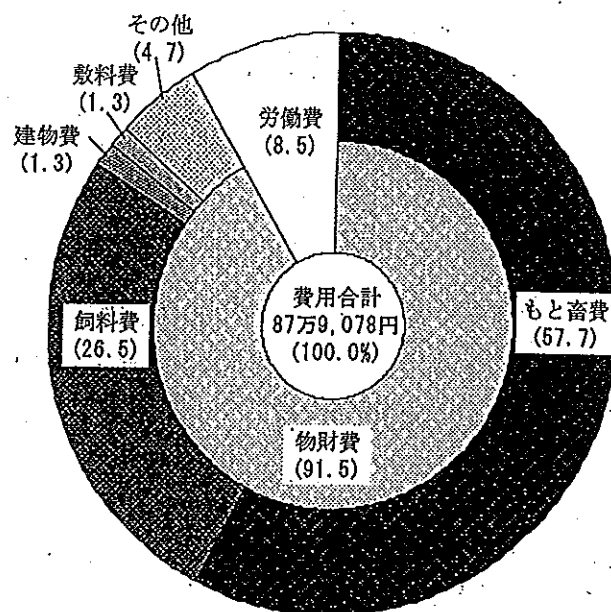
5 去勢若齡肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齡肥育和牛を肥育し、販売する経営における平成18年度の去勢若齡肥育牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は89万1,908円で、前年に比べ7.3%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、飼養規模の拡大等により労働費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成16年8月～17年7月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、去勢肥育和牛市場価格が堅調に推移したことから前年に比べ1.8%増加し、94万9,523円となった。

図5 主要費目の構成割合
（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第5表 去勢若齡肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
物財費	803,969	7.9	112,282	7.6
労働費	75,109	△1.7	10,490	△2.0
費用合計	879,078	7.0	122,772	6.7
生産費（副産物価額差引）	863,746	7.3	120,631	7.0
支払利子・地代算入生産費	876,021	7.2	122,345	6.8
資本利子・地代全額算入生産費	891,908	7.3	124,564	7.0
粗収益	949,523	1.8	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

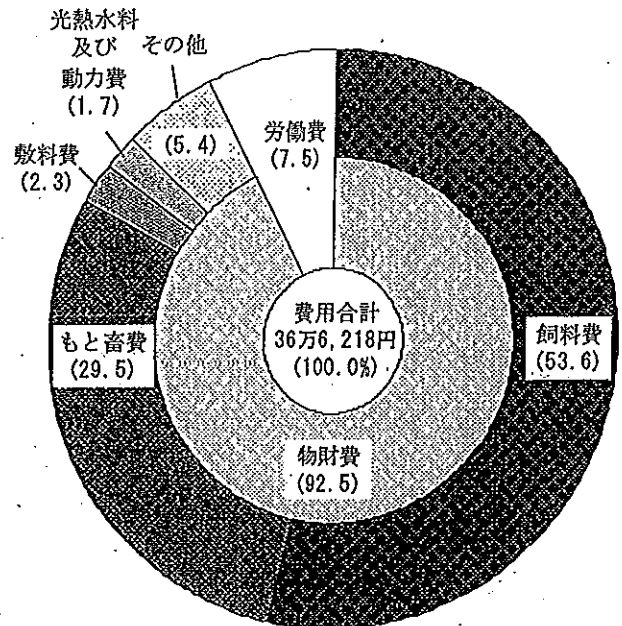
6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し、販売する経営における平成18年度の乳用おす肥育牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は37万2,722円で、前年に比べ10.3%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、飼養規模の拡大により労働費及び建物等の減価償却費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成17年2月～18年1月）におけるもと畜費が大幅に増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用牛（乳用種）市場価格が堅調に推移したことから前年に比べ2.8%増加し、38万7,597円となった。

図6 主要費目の構成割合（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
物財費	338,800	11.1	45,106	11.2
労働費	27,418	△2.7	3,651	△2.6
費用合計	366,218	10.0	48,757	10.1
生産費（副産物価額差引）	360,447	10.3	47,989	10.4
支払利子・地代算入生産費	363,630	10.1	48,413	10.1
資本利子・地代全額算入生産費	372,722	10.3	49,624	10.4
粗収益	387,597	2.8	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

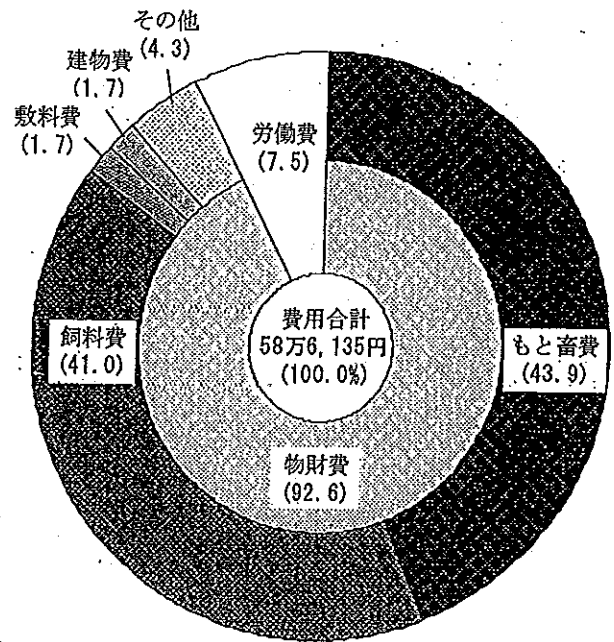
7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成18年度の交雑種肥育牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は59万6,475円で、前年に比べ6.7%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、畜舎等の建物償却費が減少したことや、肥育期間の短縮に伴い敷料費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成16年9月～17年8月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用牛（交雑種）市場価格が軟調に推移したことから前年に比べ3.0%減少し、61万3,076円となった。

図7 主要費目の構成割合（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 たり		生 体 100kg 当 たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
		円	%	円	%
生 産 費	物 財 費	542 871	7.6	72 368	5.8
	労 働 費	43 264	△ 1.8	5 768	△ 3.4
	費 用 合 計	586 135	6.8	78 136	5.1
	生産費（副産物価額差引）	577 254	7.0	76 952	5.3
	支払利子・地代算入生産費	583 621	6.8	77 800	5.0
	資本利子・地代全額算入生産費	596 475	6.7	79 513	5.0
粗 収 益		613 076	△ 3.0	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

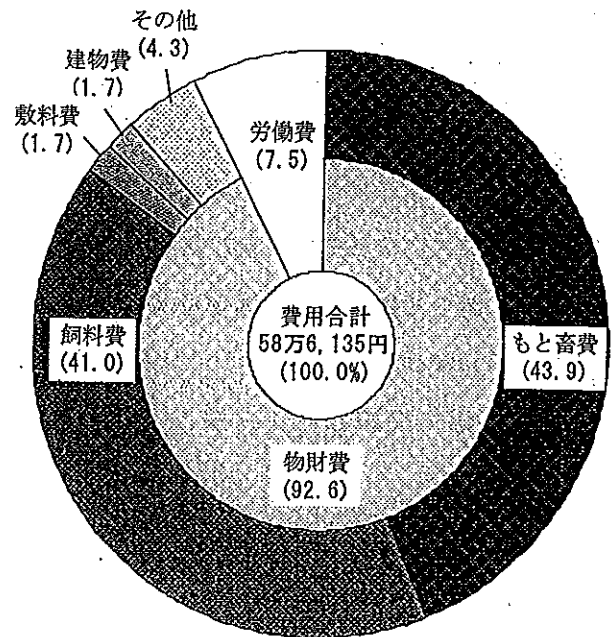
7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成18年度の交雑種肥育牛1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は59万6,475円で、前年に比べ6.7%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、畜舎等の建物償却費が減少したことや、肥育期間の短縮に伴い敷料費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成16年9月～17年8月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用牛（交雑種）市場価格が軟調に推移したことから前年に比べ3.0%減少し、61万3,076円となった。

図7 主要費目の構成割合（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	542 871	7.6	72 368	5.8
	労 働 費	43 264	△ 1.8	5 768	△ 3.4
	費 用 合 計	586 135	6.8	78 136	5.1
	生産費（副産物価額差引）	577 254	7.0	76 952	5.3
	支払利子・地代算入生産費	583 621	6.8	77 800	5.0
	資本利子・地代全額算入生産費	596 475	6.7	79 513	5.0
粗 収 益		613 076	△ 3.0	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

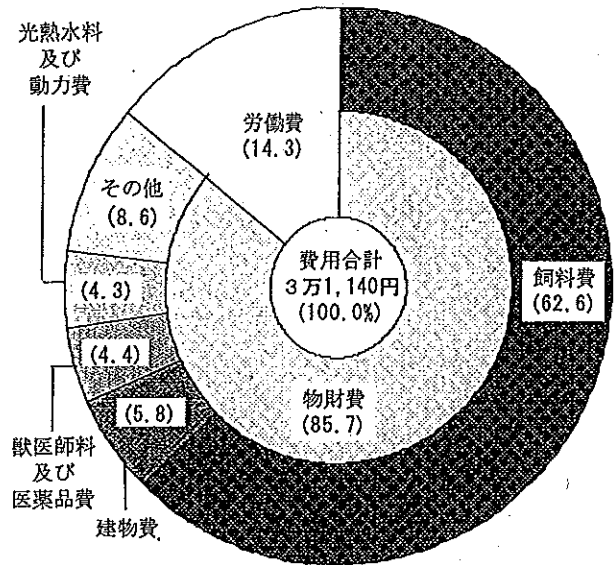
8 肥育豚生産費

(1) 平成18年度の肥育豚1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は3万1,498円で、前年に比べ6.1%増加し、生体100kg当たり全算入生産費は2万8,012円で、前年に比べ4.8%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、豚枝肉価格が前年度に引き続き堅調に推移したことから前年に比べ0.9%増加し、3万2,559円となった。

図8 主要費目の構成割合（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まれない。

第8表 肥育豚の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
生産費	物財費	26,702 円	23,747 円	5.5%
	労働費	4,438 円	3,947 円	△2.4%
	費用合計	31,140 円	27,694 円	4.3%
	生産費（副産物価額差引）	30,373 円	27,011 円	4.4%
	支払利子・地代算入生産費	30,514 円	27,137 円	4.1%
	資本利子・地代全額算入生産費	31,498 円	28,012 円	4.8%
粗収益	32,559 円	0.9%	-	-